

神奈川県異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第111号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事(事務局長) 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 5 F
 TEL 0 4 5 - 6 3 3 - 5 1 4 2 FAX 0 4 5 - 6 3 3 - 5 1 9 4
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2012年2月号

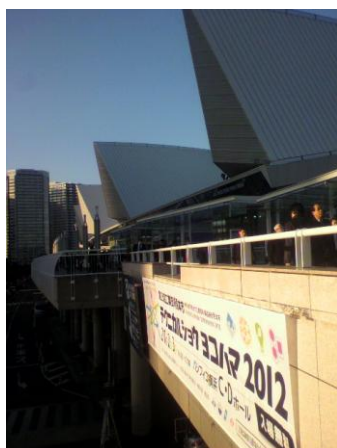
【 今月のコンテンツ 】

- テクニカルショウヨコハマ2012 1
- 塩野七生「ローマ人の物語」文庫版43巻から学ぶ 芝 忠 2
- 【 就業規則の役割とは 】連載 オフィス 架け橋 松田 健 2
- 異グ連会員グループ・プロジェクト状況 3, 4
- 企業経営者にお話を聴く（第2回）
 (株) 開明製作所 代表取締役社長 石館 治良 氏 5
- 産学官交流サロンコーナー 6
- 事務局コーナー 6

< 第33回工業技術見本市 テクニカルショウヨコハマ2012 >

見学・報告者 宗和 正憲

2月1日～3日までパシフィコ横浜展示ホールにてテクニカルショウヨコハマ2012が開催されました。今回は「未来につながる新たな技術」をテーマにし、「ビジネスソリューション」、「生産（加工技術）」、「生産（機器・装置・製品）」、「環境・エネルギー/福祉」、「産学公・企業間ネットワーク」など5つの分野に分け、独創性、先進性に富んだ最新の技術・製品、研究成果の発信など充実した内容でした。会場は多くの人で賑わい、各ブースでは力のこもったプレゼンテーションを展開。名刺交換もあちらこちらで見かけられ大にぎわい。その様な中、見学に来ていた学生さんは日本の企業の持てる「技」に感心し、食い入るように見ていたのがとても印象的でした。又、近年、レーザー加工技術の進化に伴い微細加工・特殊加工といった品も多く企業の展示されており、技術力の高さに感心したものです。通路を進んだ奥にはセミナー会場が4か所に設置され出展者による最新の技術・製品PRなどが次々に行われていました。ある企業では今回の出展に伴い新規取引先の開拓や商談、同業間の情報交換など思わぬ成果があったという話も耳にしました。我が国における中小企業や産学公の「熱意」を感じた今回のテクニカルショウでした。今回のテクニカルショウの3日間の来場者数は約30,912人で大盛況のうちに幕を閉じました。尚、我々異グ連ブースや、発表セミナー・懇親交流会も盛況でした。



【 塩野七生「ローマ人の物語」文庫版43巻から学ぶ 】

芝 忠

塩野七生氏の「ローマ人の物語」新潮文庫版で昨年43巻目が出版されて完結しました。もともと単行本版15巻は2006年に完結しましたが、新潮社は新たに文庫本版を発刊、実に43巻が発刊され、大々的に完結記念セールが行われています。写真集を中心とした「スペシャルガイドブック」も発売されました。私は3年前の夏、大宮駅のエキナカ商店街を見たとき本屋に立ち寄り、狭い店舗に文庫本が沢山並べられ、省スペースにも一役買っているのだと納得。ふと眺めていたら「ローマ人の物語」が10冊程度おいてあり、学生時代にギボンの「ローマ帝国衰亡記」に歯が立たなくて途中でやめたことを思い出した。JICA（国際協力機構）の研修事業で来日したアルメニア国周辺の歴史も調べていたということもあり、試に一冊購入したのがきっかけ。確かに文庫本は持ち歩きにいいし、この本はどこ書店でも置いてあるので、読み終わると、行った先々の本屋に寄れば買える。面白くてやめられず、結局2年半で全巻読み終わった。書籍の発行速度と読むスピードがほぼ並行していたのも楽しかった。

物語は紀元前7世紀から始まり、紀元5世紀に西ローマ帝国の滅亡で終焉していますが、日本は卑弥呼や聖徳太子の飛鳥時代に、すでに民衆の発言力や元老院による合議制などが、機能し、2千年前とは思われない体制でした。戦争の一つの原因が一神教にあり、多神教の国家の複合的安定性・柔軟性に感心させられます。また征服した従属民の積極的活用・登用・寛容性にも驚きます。だからこそ1千年間国家が継続したのです。むしろ衰退の原因の一つがキリスト教を国教にしたことが皮肉な現象としてみられます。単一宗教国家の限界が今日でもあるように思います。皇帝が常に民衆の声を意識するシステムなど、現在の日本の政治にも警鐘を鳴らしています。「民主主義」とは何かを考えさせられる本です。日本でも防衛問題は米国の軍事力と重なって重要課題ですが、自国の民を自国の軍隊・警察が守ることは基本です。守り方は別としても、外国の軍隊にいつまでも頼り、頭を下げていいのでしょうか。ローマは安全と食糧を民衆に保障することが、皇帝の最大責務でした。また軍隊と駐留地域との一体感も相当なもので、軍の駐留が「迷惑施設」でなく、都市の発展のきっかけとなっていることもうなづけます。また海が国家の境界線ではなく、対岸との連絡通路であり、陸地と同じという指摘も大変考えさせられることでした。また失敗したものにもう一回チャンスを与えるという寛容さも今日の日本ではなかなか実現せず、三陸の復興にしても「もどきに返す」考えが政府や自治体に少なく、何か新しい方向に持って行ってしまおうという考えが濃厚です。二重ローンなども素直にゼロにすればと思いますし、いわんや賠償金や義捐金に税金という考えにはびっくりします。

2千年前の少子化対策がすでに行われていたなどローマ人に学ぶことが多々あるように思いました。きわめて現代的な内容です。

オフィス架け橋

行政書士 特定社会保険労務士

松田 健

<http://kakehashi-yokohama.web.officelive.com/shiminhou.mu.aspx>

【連載 その3】

【 就業規則が必要な場合とは 】

労働基準法により、使用者は常時10人以上の従業員を使用する各事業場ごとに、同法で指定する項目に関する規定を盛り込んだ就業規則を作成し、労働基準監督署長へ届け出ることが義務づけられています。

就業規則の内容は一般的に、服務規律に関する部分と、労働条件に関する部分で構成されます。どのような業種でも、会社が多くの従業員を使用する事業活動を行う場合、会社の秩序を保つために、従業員に守ってもらうルール（服務規律）が必要になります。

また、事業活動を組織的、能率的に行うためには、始業・終業の時刻、休憩時間、休日、休暇、賃金などの労働条件について統一的な基準を作って従業員に示す必要もあります。

就業規則とは、このような必要から会社（使用者）が決めて文書にした職場の規則の総称のことです。

会社にとつては職場の秩序の保持、人事労務管理に役立ちます。他方、従業員にとつては示された労働条件のもと、服務規律に違反しないかぎり制裁を受けないわけで、信頼関係に基づいて安心して働けるようになります。

労働基準法 第89条1項
（作成及び届出の義務）

常時10人以上の労働者を使用する使用者は、次に掲げる事項について就業規則を作成し、行政官庁に届け出なければならぬ。次に掲げる事項を変更した場合においても、同様とする。

<異グ連会員グループ・プロジェクト状況 >

【シフト21】 <http://shift21.jimdo.com/>
 フェイスブック <http://www.facebook.com/shift21.yokoha>

有村 知里

1月28日に実施した「新年プレゼン交流会 2012」は多数のご参加をいただき盛会にて終了いたしました。プレゼンテーション、全員の自己紹介、展示、懇親会と多様な交流の機会により、参加の皆様にはビジネスの新たな出会いを見出していただきました。



< これからの定例会予定 >

2月定例会 2月14日(火)

あなたの会社のためになる！ホームページやその他 IT ツールの活用法

講師 プリズムゲート株式会社 代表取締役 芝田弘美様

ホームページやブログ、facebookなどのSNS、メルマガ、SEO対策…数あるITツールはどれが自分の会社のためになるのか？…会社に役立つITツールの選び方をお話しいたします。

3月定例会 3月13日(火)

必ず成功する写真プロフィール ～写真力で自分ブランディングの構築～

講師 写真家 松木マリ 様

シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会(原則第2火曜日)を開催しております。ゲスト参加大歓迎です。お問合せは有村まで。

(arimura-c@nifty.com)



第36回(1月16日)西湘サロンの報告

吉池 正樹

国内で一番古いキウイフルーツを利用した商品提供(キウイフルーツ酢)をはじめ、トマトの生産販売・ジャム・アイスの製造販売を手がけ、さらに農産物の廃棄ゼロ(製品開発)にチャレンジしている耕栄ファクトリーファーム代表中戸川正義氏に「地域ブランドへの思いを込めた商品提供」というテーマで、キウイフルーツの生産から商品開発までの苦労話等に付いてお話を頂きました。当日は試食会もあり、出席者からは販売方法も含め、いろいろなコメントがあり賑やかでした。耕栄ファクトリーファームに付いて詳しく知りたい方は<http://koei-factory-farm.com>へどうぞ。

第37回西湘サロン予定

*日 時：24年3月12日(月)午後6時～8時(開場5時30分)

*場 所：小田原市第三区公民館(小田原市栄町1-16-41)

*会 費：1000円

1. 話題提供：「戦略的商品開発支援事例～技術・デザイン・経営の総合支援～」

神奈川県産業技術センター 企画部 戦略的デザイン室 室長 小堀 誠氏

産業技術センターと公益財団法人神奈川県産業振興センターが連携して、中小企業の苦手とする「商品化・ブランド化」に取り組んだ、1200年の伝統を誇る小田原箱根地方の木製品の戦略的商品開発、販路開拓支援事例等を紹介します。

2. テーブルディスカッション(ビール、つまみを用意します)

テーブルを囲み、自由に討論・交流を行います。

平成23年度神奈川県中小企業技術革新(SBIR) 制度活用促進事業



公的補助金を活用し、新製品・技術開発に取り組もう！

—第3回公的補助金活用セミナー兼個別相談会開催のご案内—

公益財団法人神奈川産業振興センター (KIP) では、県内中小企業の新製品・技術開発を促進するため、補助金の交付や特許料の軽減、債務保証に関する枠の拡大等の措置が受けられる中小企業技術革新(SBIR) 制度という国の制度の活用を支援しています。

このたび、その一環として公的補助金制度の概要説明のためのセミナーおよび個別相談会を開催します。新製品・技術の研究開発を検討中、または実施中の皆さま。奮ってご参加ください。

- 日時 平成24年2月16日(木)
- 時間 13:30～15:00(セミナー)、15:00～16:30(個別相談会)
- 場所 神奈川中小企業センタービル6階(大研修室) ●参加費 無料
- 内容 1. SBIR 制度概要説明 2. 特定補助金の概要説明 3. SBIR 制度活用事例 4. 申請書作成のポイント
5. 無料個別相談会
- 申し込み 申込書に必要事項を記入し、FAX または E-mail でお申し込みください。
申込書は下記問い合わせ先、ホームページからダウンロードしてください。
- 申込先 NPO 法人総合プロデュース協会 SBIR
FAX 045-545-7245 E-mail sbir@npo-pro.com



かながわ産業 Navi 大賞 2012 の募集。大賞賞金 100 万！

- 【募集期間】 平成24年2月1日(水)～4月16日(月)
- 【対象者】 神奈川県内に事業を有する中小企業者または個人事業者
- 【対象事業】 中小企業が開発した製品・商品・技術・サービスなどで具体的に事業化されているもの
環境問題・保全への取り組みや省資源化に優れているものなど
- 【主催】 (財)神奈川県経営者福祉振興財団
詳細はホームページにて <http://www.navida.ne.jp/sangyo/kanagawa/>



県西産業フェア2012

- 【日時】 平成24年2月24日(金)～25日(土) 10:00～17:00 (25日は16:00まで)
- 【場所】 小田原アリーナ(サブアリーナ) 小田原市中曽根263
- 【主催】 神奈川県足柄上地域県政総合センター 【共催】 県西地域産業振興協議会
- 【問い合わせ】 あしがら異業種交流促進事業事務局 【(有)明治花プロ内】 担当: 川崎・佐藤
TEL/FAX : 0465-84-5407 アドレス: <http://ashigaracross.com>
メール : info-m@hanapuro.com

【 企業経営者様にお話を聴く 】

今年の1月から始まりました「現役企業経営者のお話を聴く機会」の第2弾としまして今回

(株) 開明製作所 代表取締役社長 石館 治良様にお話を伺い致しました。

この会は月初めの第一月曜日 16:15～中小企業センター内の異グ連ブースで行われています。

特にテーマを設けず直面している問題、当面の課題・取引先の状況・行政に対する要望など様々な観点から忌憚なくお話頂き意見交換をしようというものです。(詳しくは神奈川異グ連事務局まで。)

(第2回)

株式会社 開明製作所

代表取締役社長

石館 治良 氏

編集部： 宗和 正憲

(株)開明製作所様は従業員 13 名で事業内容は金属及び樹脂の切削加工をおこなっており一般的なものから精密微細加工まで幅広い加工を手がけておいでです。昭和 31 年の設立以来、実に 55 年の歴史がある会社で経営理念は①「ものづくり」を通して社会の発展に貢献すること。②社員の生活基盤を安定させ、「豊かさ」を追求すること。③客先や地域からあてにされる人間集団になること。④人類社会の存続が可能となるように、地球環境を守ること。だそうです。お話の中で、この歴史ある会社もかつて 86 年の円高ショックにより一事は存続さえ危ぶまれた時期もあった様です。その経験から、財務体質の改善を進め、生産の効率化を進めた結果、利益を確保できる体質へと変貌してまいります。その様な中、2008 年に起きたリーマンショックで瞬間的に前年対比-70%という売上減を経験。さらに東日本大震災による生産調整を余儀なくされましたが、経費削減、無駄の削除など損益分岐点を下げることによって赤字脱却をはかって来られた様です。

この話を聞きながら、いかに企業にとって財務強化が必要なのか改めて感じさせられた次第です。

更に製造業が置かれている今日の現状や問題点などについて独自に分析。鋭い切り口から分かりやすくお話を頂きました。また、機械設備に至っては、工作機械の対アジア輸出により最新鋭機械は日本よりもアジアに集積されつつあるなど関係者でないとは分からないような興味深いお話がてんこ盛りでした。

社員のことを考え、幾多の苦難を乗り越えてこられた石館社長様の熱い思いや心意気が感じ取れた今回のお話でした。

次回：第三回 3月5日 サイカヤ・システム・テクノロジー (株) 代表取締役社長 雑賀 政徳 氏 講和

【 今月のスケジュール 】

2012年 2/15 16 18 21 2/24 3/12 14

神奈川新産学公交流サロン・横浜

SBR制度活用促進事業

横浜ビジネスグランプリ2012

原発に頼らない低炭素社会を考え

県西産業フェア2012

西湘サロン

三浦半島経済人サロン

産学官交流サロンコーナー

	尾上町サロン	西湘サロン 第37回	三浦半島経済人サロン 第49回	神奈川新産学公交流 サロン・横浜 第48回
日程	原則第一・第三金曜日 17:15～19:30	3月12日(月) 18:00～20:00 開場は17:30～	3月14日(水) 18:00～20:20 開場は17:30～	2月15日(水) 18:00～19:30
場所	神奈川中小企業センター5 階 異グ連事務所	小田原市第三区公民館 (小田原市栄町1-16 -41)	神奈川新聞社 横須賀支社 5階会議室 横須賀市小川町21-9	神奈川中小企業センタ ー5階 会議室 異グ連
連絡先	異グ連(芝、八幡、鈴木)	異グ連(島津、吉池、)	異グ連(八幡、鶴野)	(織方、岡田、杉本、芝)
内 容	自由なテーマで進行 (テーマの事前予約OK) 参加費:1,000円 ぶらり参加者大歓迎!!	「戦略的商品開発支援事 例～技術・デザイン・経営 の総合支援～」 神奈川県産業技術センタ ー企画部 戦略的デザイン 室 室長 小堀 誠氏 参加費:1,000円	「大メコン圏における東西 経済回廊の位置づけ」 神奈川県異業種グループ連 絡会議理事(国際担当) 児玉 英二 氏 参加費:1,000円	「他人事では済まされ ない、迫りくる相続問 題!!」 プルデンシャル生命保険(株) ライフプランナー 宗和 正憲 参加費:1,000円

* 異グ連連絡先につきましては最終ページ下部をご参照下さい

事務局のコーナー

立春がすぎると間もなく春の訪れ。とはいってもまだまだ寒いのが現状。東北地方では記録的な積雪になっている一方、東京では気温が5℃の日に川崎・横浜では16℃というその差なんと10℃以上もある異常気象に近い状況まで発生しています。こんな温度差のある状況では体調を崩しやすくウイルス感染もしやすいと言われていいます。インフルエンザも流行の兆しがあり予防が欠かせません。こまめな手洗いとうがいを行うことで感染をより最小限に抑えることが出来ますのでご自身でしっかり管理をし、万全な状態でこの冬を乗り切ってください。では、また来月お目にかかりましょう。

「かながわ異グ連ニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって**未来へつながる「役立ち情報誌」**となります。お気軽にご投稿下さいませ。

お伺いできる範囲であれば取材にもお伺いします。尚、自薦・他薦は問いません。

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masahito@ab.bb-east.ne.jp



神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】 ①②④荒 直孝 ③⑤村田和彦 【火】 八幡 敬和 児玉 英二 【水】 杉本 明子 (芝 忠)

【木】 松井 利夫 【金】 ①③⑤魚崎 誠也 ②④織方盛男 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局

T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail : iguren@kanagawa-iguren.com

より良い紙面にしていくため皆様からの投稿、ご意見をお待ちしております。お問い合わせ、連絡先は下記の通り。

(会報編集担当) mail masahito@ab.bb-east.ne.jp 宗和(そうわ) 携帯:090-5556-8238

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 Tel:045-633-5142 Fax:045-633-5194 まで。